

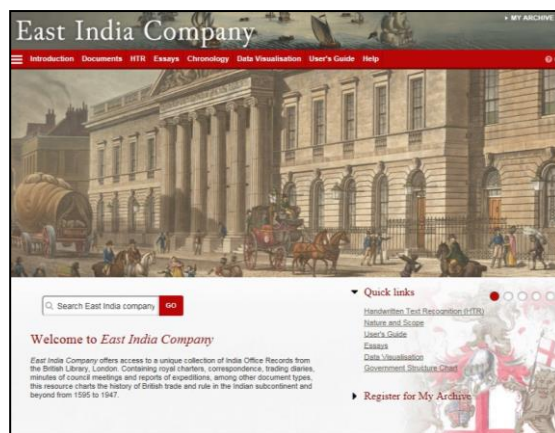
# East India Company 利用ガイド

<http://www.eastindiacompany.amdigital.co.uk/>

## 【データベース概要】

大英図書館所蔵のインド省文書（India Office Records: IOR）は、東インド会社の研究において最も重要な一次資料アーカイブです。本データベースは、その中核をなすファイルを、デジタル化するもので、英国とアジア、東西交易の歴史研究における重要文書へのアクセスが容易になります。

約 120 万ページの資料を 3 モジュールに分けてデジタル化するプロジェクトで、閲覧しやすいようきめ細やかな工夫が施されています。



英国東インド会社の初期の貿易、大英帝国の確立期における東インド会社の役割、また、その後のインド各地域における英国王室の統治権等、大英帝国の南アジアにおける活動記録であり、また、海洋貿易、国際商取引、そして、世界初の巨大多国籍企業の記録でもあります。この時代の南アジア政治史・経済史、インド文化、インド史を洞察するうえでも極めて貴重な資料です。

この資料は、以下の 3 モジュールに分かれています。

\*機関のご契約内容によって、閲覧可能なモジュールは異なります。

### Module I: Trade, Governance and Empire, 1600-1947

- ・ IOR/A: The East India Company's charters, deeds, statutes and treaties with related documents, 1600-1947.
- ・ IOR/B: The minutes of the meetings of the East India Company's Courts of Directors and Proprietors, 1599-1858
- ・ IOR/C: The minutes and memoranda of the Council of India, 1858-1947
- ・ IOR/D: The minutes and memoranda of the general committees and offices of the East India Company
- ・ IOR/Z: Indexes to selected documents in classes B and D Section II: 文学と帝国 Literature and

### Module II: Factory Records for South Asia, South East Asia

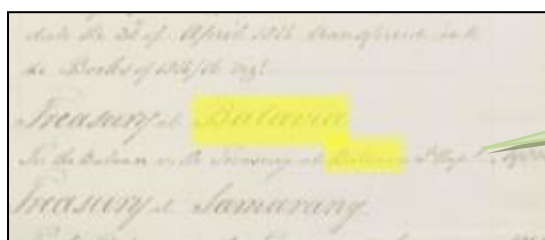
- ・ IOR Class G&L

### Module III: Factory Records for China, Japan and the Middle East

- ・ IOR Class G&R

## 【手書き文字認識 (HTR)】

本データベースは、**手書き文字認識 (Handwritten Text Recognition=HTR)** 機能を搭載しています。この技術によって、収録されている手稿資料のフルテキスト検索が可能です。HTR とは、人工知能 (AI) を用いることで、文書中の手書き文字の組み合わせを特定する機能です。



**手書き文字認識 (HTR)**

手書き文字を検索、ハイライト表示可能

## 【利用方法】

本データベースの主な機能は、画面上部のツールバーからご覧いただけます。



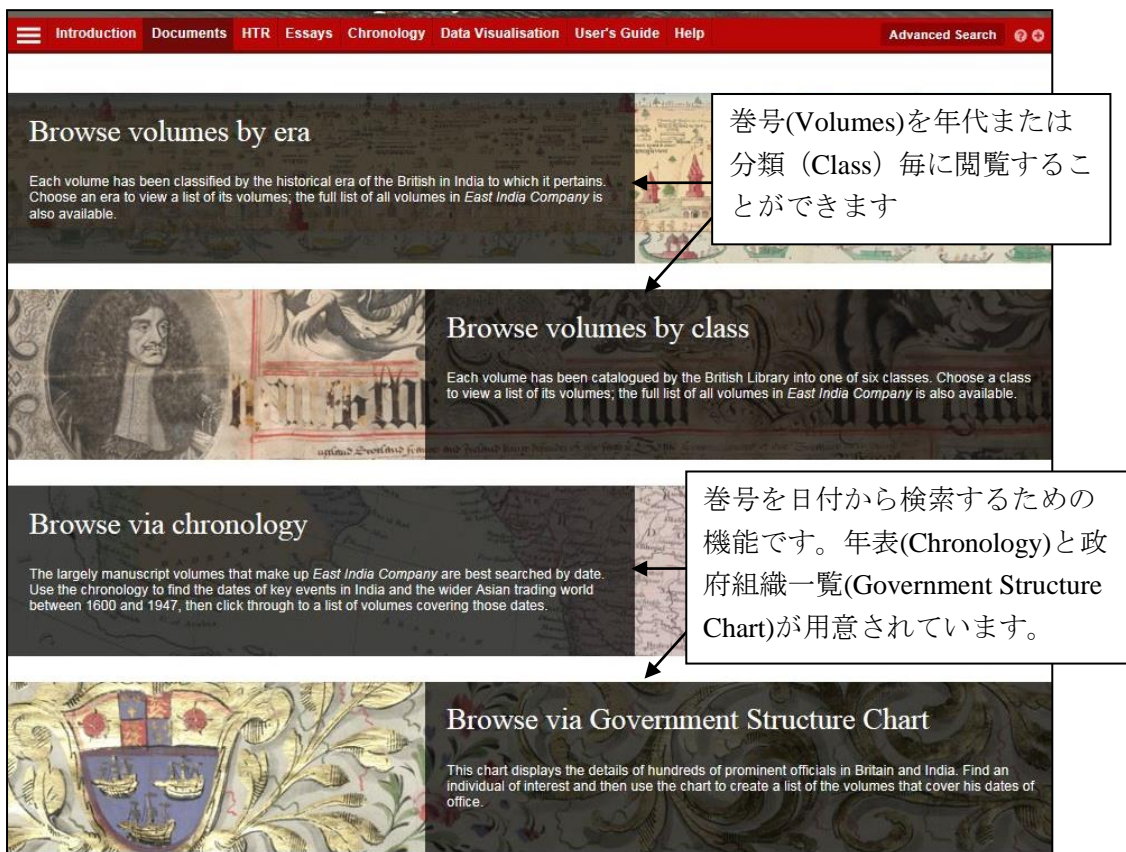
### ① 内容紹介 Introduction

本データベースの概要や収録資料について紹介しています。

### ② 資料閲覧ページ Document

East India Company の収録資料は主に手稿文書で巻号(Volumes)毎に製本され、分類 (Class) と文書の種類 (Material Type) によって整理されています。

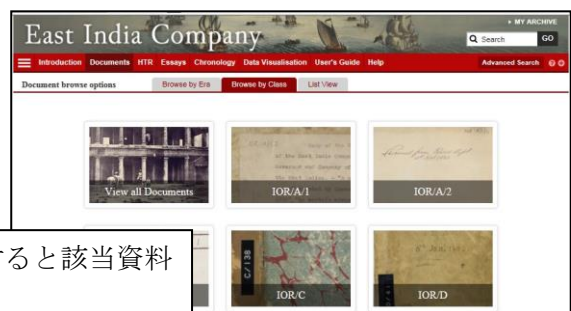
ページ上部の Document をクリックすると、巻号(Volume)の閲覧方法が表示されます。



#### ・ Browse volumes by era を選択した場合



#### ・ Browse Volumes by class を選択した場合



時代や分類をクリックすると該当資料が一覧で表示されます。

巻号の閲覧方法を選ぶと、資料が以下のように一覧で表示されます。

年月や、Document Type(資料の種類)、Era(時代)、Class(分類)によって絞り込みができます。画面左部のチェックボックスにチェックをいれ、APPLY をクリックします。

The screenshot shows the 'East India Company' website interface. At the top, there is a navigation menu with 'Introduction', 'Documents', 'HTR', 'Essays', 'Chronology', 'Data Visualisation', 'User's Guide', and 'Help'. Below the menu, there are tabs for 'Document browse options', 'Browse by Era', 'Browse by Class', and 'List View'. On the left, there is a 'Filter Options' section with 'Apply' and 'Clear Filters' buttons, and a 'Document Type' list with checkboxes for various categories like Charter, Commission, Consultations, etc. The main area displays a table of search results with columns for Title, Date, Reference, and Document Type. A callout box points to the 'Toggle' icon in the table header, stating '絞り込み機能の表示/非表示切り替え'. Another callout box points to a document entry with a book icon, stating 'フルテキスト検索が可能な資料は📖アイコンが表示されます。手書き文字検索(HTR)による検索が可能な資料は✍️アイコンが表示されます.'

### ◎ 資料の詳細表示画面

一覧のタイトルまたはサムネイル画像をクリックすると、資料の詳細が表示されます。

資料の詳細表示画面では、サムネイル画像、書誌情報が閲覧できます。

The screenshot shows the detailed view of a document on the 'East India Company' website. At the top, there is a navigation menu and a search bar. Below the menu, there is a 'TIP: Use the image thumbnail links below to view document pages in high-res.' message. The main area displays a row of document thumbnails. A callout box points to the 'Download entire document as PDF' button, stating 'PDFでダウンロード'. Another callout box points to the thumbnails, stating 'サムネイルをクリックすると各ページが拡大表示されます.' Below the thumbnails, there are buttons for 'Add to my archive', 'Download entire document as PDF', 'Download image range', 'Unpaginated', 'GO', and 'Citation / Export'. A callout box points to the 'Citation / Export' button, stating 'Citationを表示。EndNoteやRefWorksへエクスポート可能'. Below the buttons, there is a 'Contents' section with a list of links for different pages (e.g., '1600 - 1605 - Minutes', '1606 - Minutes', etc.). A callout box points to this section, stating 'インデックスも作成されている場合、画面右側に Index と表示されます。この一覧のリンクをクリックすると、画面を2分割し、コンテンツとインデックスを並べて表示できます.'

## ◎ 資料の表示画面

サムネイルをクリックすると該当のページが閲覧できます

資料の詳細表示画面へ戻る。

PDF でダウンロード

ページの移動

資料の画像は、拡大、縮小、回転、全画面表示が可能です。

Thumbnails タブをクリックすると資料の全頁を一目で見るすることができます。

2分割表示の場合：

左側にコンテンツを表示

右側にインデックスを表示

2分割表示から分割無しに切り替え

◎収録資料の多くには、インデックスが作成されています。このインデックスは、関連するコンテンツと並行して閲覧できるようになっています。

## ◎ 印刷・ダウンロード

資料の印刷・ダウンロードは、PDFに変換することで、可能となります。

資料の詳細表示画面： 閲覧資料の全ページまたは指定したページ範囲をPDFに変換可能。

\* ページ番号は、ドロップダウンより指定することができます。ページ付けされていない資料については、ページ番号のかわりに”unpaginated image”と表示されます。

\* 全ページをダウンロードする場合、ファイルサイズが大きくなり、ダウンロードに時間がかかる場合がございます。PDFの閲覧にはAdobe Readerが必要です。

資料の閲覧画面： 現在閲覧中のページまたは、閲覧中のチャプターをPDFに変換可能。

## ◎ 書誌情報の生成・エクスポート

資料の詳細表示画面で、**Citation / Export** ボタンをクリックすると、書誌情報が表示されます。書誌情報は、EndNote、RefWorks、zotero へエクスポートできます。

### ③ 手書き文字認識 Handwritten Text Recognition (HTR)

手書き文字認識機能 (HTR) について説明しています。

### ④ エッセイ Essays

第一線の研究者が執筆した資料解説のエッセイ(小論文)を収録しています。これらのエッセイは、本データベースに収録される資料を引用しており、これらはハイパーリンクされています。エッセイを読みながら、そのエッセイが説明しているオリジナル資料にリンクすることが可能です。

### ④ 年表 Chronology

年表(Chronology)から文書の巻号を探し出せます。(この画面には、Document →Brows via Chronology からアクセスできます。)

### ⑤ 補足資料 Data Visualisation

1760年から1834年までの東インド会社の貿易データを搭載しており、地図とグラフ上に表示することができます。



### ⑥ 検索 Search

画面右上の検索ボックス (収録内容すべてから検索)、または、Advanced Search が可能です。

#### Advanced Search 画面

East India Company

Introduction Documents HTR Essays Chronology Data Visualisation User's Guide Help

Advanced Search

Keywords anywhere Enter Text AND

Keywords anywhere AND

Keywords anywhere AND

Keywords anywhere AND

Keywords anywhere AND

Keywords anywhere AND

Word Stemming  Proximity Enter Value

Restrict search by:

Date: From To

Filter by: Date Document Type Era Class Region

Refined by:

Secondary Resources  Search Aids

Search

Previous Searches

japan

◎ 一語以上の検索: AND, OR, AND NOT に対応しています。

例: Bombay AND Madras =両方の単語が含まれる資料を検索。スペースでも同様。

Bombay OR Madras=いずれかの単語が含まれる資料を検索。

Bombay AND NOT Madras =Bombay は含むが、Madras は含まない資料を検索。

注: 大文字・小文字は区別しません。

◎ フレーズ検索

フレーズ検索は、”Council of India”のように、ダブルクォーテーションでくくります。

◎ ワイルドカード

?と\*があります。?は、一文字を表し、\*は複数文字を表します。例えば、baptis? は、baptist や baptism を、baptis\* は、baptist、baptism、Baptists、baptising 等も検索用語として認識します。ワイルドカードは、フレーズ検索でも利用できます。

◎ 複数形

本データベースでは、複数形の自動検出はしません。たとえば、Book と Books を検索したい場合は、Advance Search 画面の Stemming にチェックを入れるか、ワイルドカードを使用します。

◎ 近接検索 (Proximity)

“Bombay w/5 Madras “ と検索すると、5 単語以内に Bombay と Madras があらわれる資料がヒットします。または Advanced Search 画面で Proximity に数字を入れます。

◎ 語幹 (Word Stemming)

Advanced Search ページで、“word stemming” にチェックを入れると、入力した語句のすべての派生形を検索します。たとえば book では、book、books、booked がヒットします。ただし単純に book から始まる単語 (bookseller、bookkeeper) はヒットしません。この場合はワイルドカードを使用します。

◎ 検索結果表示画面

The screenshot shows the search results interface for the East India Company database. It includes a search bar at the top, a list of document thumbnails, and a detailed view of a document titled 'Batavia Journal, May 1815'. Annotations with arrows point to various features:

- ヒットのあるサムネイルは赤枠で表示**: Points to a red-bordered thumbnail in the search results list.
- 次のヒットを含むページを表示**: Points to a 'next hit' button in the document view.
- 検索結果一覧に戻る/前後の検索結果に移動**: Points to navigation arrows (back, forward) below the thumbnails.
- 並べ替え**: Points to the 'Order by' dropdown menu.
- ヒットを含む箇所を切り抜き表示。クリックで全体表示**: Points to a document snippet with a red box around a highlighted word.
- 検索ワードは黄色でハイライト**: Points to the highlighted word 'Batavia' in the document snippet.